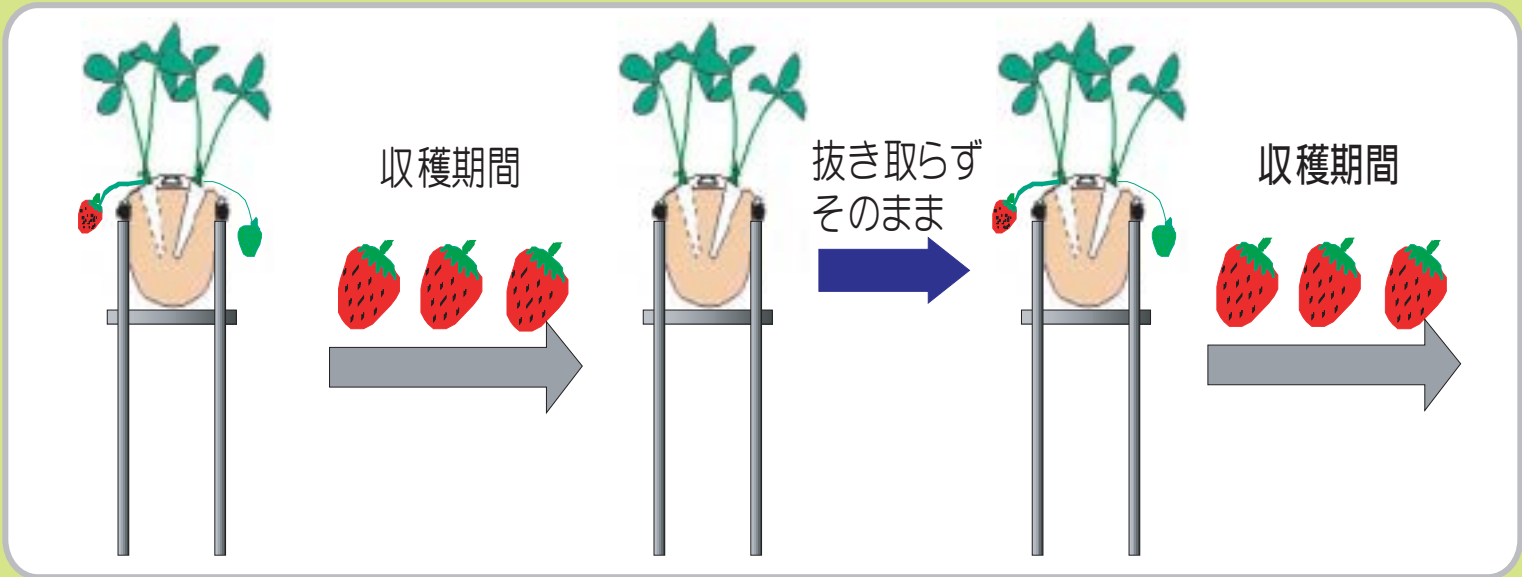


イチゴ「株据置栽培」

イチゴ栽培における育苗の省力化のため、収穫終了後に株をそのまま栽培ベッドに据置いて、次作の生産株として利用する技術開発を行っています。

栽培法の特徴

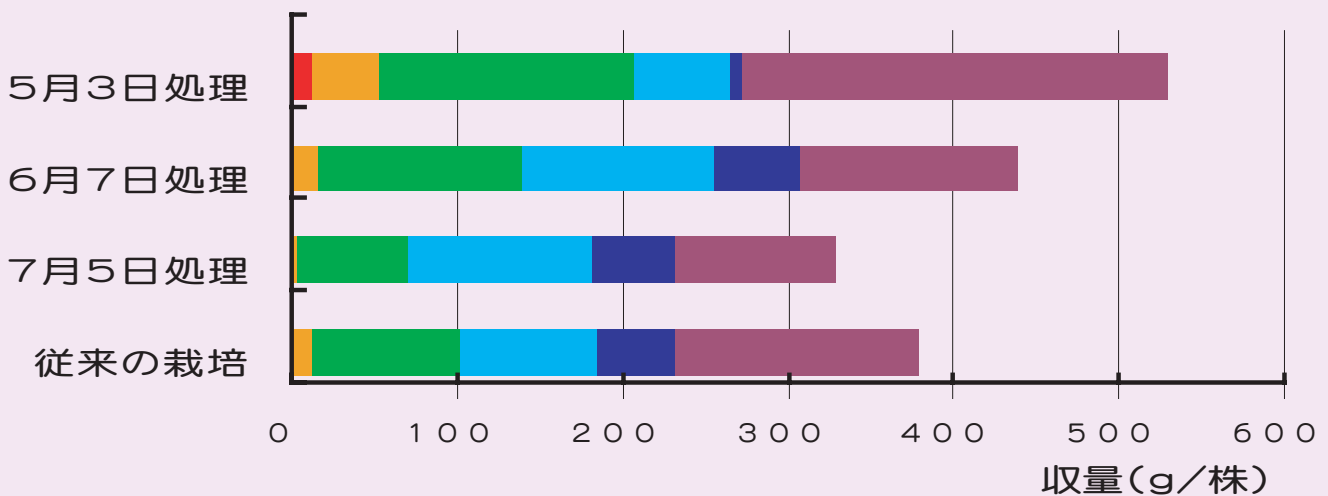
- ★ 高設による養液土耕栽培（特許申請中）→自然な立ち姿での作業
- ★ 株据置による育苗の大幅な効率・省力化→全体労力の20%削減



これまでの成果

★ 花芽分化促進技術の開発

→ 5月中旬の窒素中断開始により早期・多収穫



窒素中断時期の違いが月別収量に及ぼす影響

■ 11月 ■ 12月 ■ 1月 ■ 2月 ■ 3月 ■ 4月